

[Intro]

ねえ、なんでかな?
ただ「お疲れ」って言葉だけなのに
スマホ握りしめて
期待してる私、ほんとバカみたい

[Verse]

最初はまったく気にしてなかった
ただの同僚で
たまたま席が隣なだけ
なのにいつの間にか
気づけばキミを目で追ってる
「そのネイル、可愛いね」なんて
サラッと言えちゃうとかズルいよ
平然装って「ありがとう」って返すけど
心臓の音バレそうでヤバい

[Pre-chorus]

隠せば隠すほど
気持ちって滲み出ちゃうのかな
頭の中、キミだらけ
もう止まれないよ

[Chorus]

ねえ
名前呼ばれるだけで
鼓動が跳ねて止まらない
キミの声が響くたび
また可愛くなりたいって思う
触れてないのに近すぎて
逃げ場所なんてないよ

もう誤魔化せないよ
my feelings これ、きっと“恋”だよね？

[Verse]

真面目すぎてちょっと不器用なとこ
最初は「何考えてるの？」って思ってた
でもね
誰より周りを見ているとことか
少年みたいな笑顔とか
知れば知るほど惹かれてく
私の“当たり前”が
キミ色に染まってく

[Pre-chorus]

強がりな私だけど
キミの前じゃ嘘つけない
もっと素直になれたらいいのに

[Chorus]

ねえ
名前呼ばれるたびに
息が苦しくなるくらい
キミの存在が大きくなつてく
確かめたいけど怖くて
今の距離壊したくない
それでもキミが笑うだけで
未来がキラキラ光つて見えるの

[Bridge]

Tell me, tell me baby
Am I the only one feeling this way?

Is it destiny? Or just fantasy?

I'm falling deeper day by day

もし手を伸ばしたなら

キミは握ってくれるの？

それとも笑って離れていくの？

答えが知りたいの

[Chorus]

名前呼ばれるだけで

新しい私に変わってく

出会う前の退屈な日々には

もう戻れないよ

たとえ傷ついたとしても

この気持ちには嘘つけない

恋してるって認めたら

やっと前に進める気がする

[Outro]

ねえ

次に名前呼ぶときは

もっと特別な声で呼んでほしい

...なんてまだ言えないけど